

2025年度水・地域支援事業
(ビジネスプランコンテスト)
課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）

採択ビジネスアイデアの概要

アイデア名称：〈L Stream〉バリ島独自の灌漑システム「スバック（Subak）」の
補完・保護をする水流制御装置

採択者名：大竹 平

(注) 本ビジネスアイデアの概要を原文のまま掲載します。
本ビジネスアイデアの知的財産権は、採択者が有しています。
本ビジネスアイデアの無断転載・引用を禁止します。

2025年9月1日

主催者 公益財団法人 水・地域イノベーション財団

【ビジネスアイデアの概要】

＜応募ビジネスアイデアで対象とする課題及び考案の経緯＞

バリ島には今なお、美しい棚田の風景が広がっている。この景観は、山脈から流れる一つの水源地を、伝統的水利組織「スバック（Subak）」が適切に管理・分水し、各田畑へ届けていることで維持されている。しかし近年、観光客の増加に伴い、水路の破損やゴミの投棄による水流の乱れが深刻化している。特に主水流で障害が発生すると、その下流に広がるすべての田畑への分水が困難となり、深刻な連鎖的影響を引き起こしてしまう。

＜課題解決するための現段階でのアイデア＞

本提案は、バリ島の伝統的な灌漑システム「スバック」の水管理機能を補完・保護するため、地元資源を活用した簡易な水流制御装置〈L Stream〉の導入を提案するものである。

農村部で廃棄されているコンクリートや石材を再利用したL字状の本装置は、設置角度や位置の調整に加え、現地で採取可能な竹製フィルターを併用することで、水の流れや分配量を柔軟に制御できる。これにより、水路の氾濫や破損、ゴミの滞留といった問題の軽減が期待される。この装置は、地域住民が自ら製作・設置できるシンプルな構造であると同時に、竹の栽培や石材の回収などの工程を地域ビジネスとして展開可能なフローに組み込むことで、経済的な波及効果も見込まれる。

〈L Stream〉の導入を通じて、地域コミュニティによる主体的な維持管理を促進し、観光と農業の共存による持続可能な棚田景観の保全を目指す。